

泉州地域で初！！

特認校制度を導入した施設一体型義務教育学校が開校

～和泉市立槇尾学園で開校式典を開催～

和泉市は、泉州地域で初となる特認校制度を導入した施設一体型義務教育学校である和泉市立槇尾学園（大阪府和泉市仏並町 207-1）の開校式典を令和7年4月27日（日）に開催しました。

令和7年4月に開校した同校は、和泉市南部に位置する槇尾中学校、横山小学校、南横山小学校の3校を統合した、本市で2校目となる施設一体型義務教育学校。和泉市内全域から通学が可能な特認校制度を導入し、真新しい校舎で現在、1年生から9年生までの393名の児童生徒が学んでいます。

槇尾学園では、1学級20人程度の少人数指導体制、地域を教材とした独自教科「槇尾学」など、特色ある教育活動を展開します。

当日は、和泉市長を始め来賓による祝辞、校歌作詞者・作曲者の紹介、校旗授与等が行われました。

その後、全校児童生徒による校歌斉唱が行われ、槇尾学園の船出に花を添えました。



■槇尾学園 田中校長コメント

統合された槇尾中学校、横山小学校、南横山小学校3校の歴史と伝統を引き継ぐとともに、開校に向けて注がれた地域の皆さま、関係の皆さまの思いに応える使命と責任の重大さを胸に、教育活動の充実に向けて励んでいきたい。

<当日の様子>



<お問い合わせ先>

和泉市教育委員会学校教育室 児童生徒支援担当 TEL：0725-99-8159

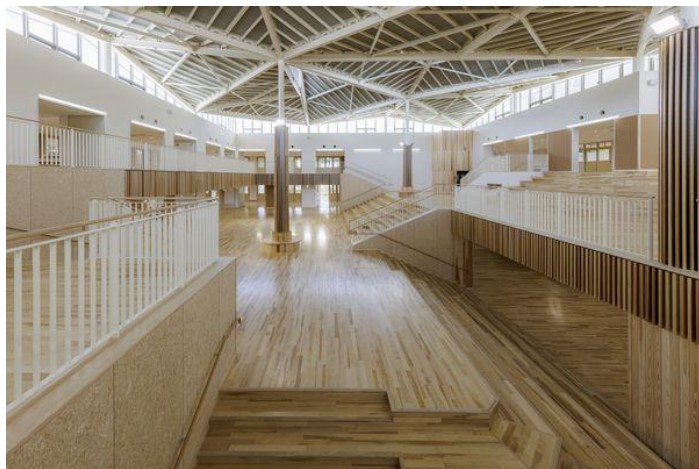
槇尾学園の特色ある教育環境

■新校舎の特徴

新校舎は、敷地の高低差を利用した各階が半階ずれたスキップフロアを採用し、校舎の中心には、日常的な学びや交流の場として、開放感のあるメディアセンター（図書館）を配置。また、和泉市内産木材「いずもく」を校舎内装材等を使用し、木のぬくもりに包まれた空間を創出しています。



校舎全景



スキップフロアを採用した校舎



メディアセンター（図書館）



メディアセンターで読書する子どもたち

■槇尾学園独自の少人数学級指導

1 学年 2 学級で 1 学級 20 人程度の少人数指導体制を導入し、一人ひとりの主体性を生かした学習ときめ細やかな対応、学習内容に応じて学年合同授業などを柔軟に実施します。



＜お問い合わせ先＞

和泉市教育委員会学校教育室 児童生徒支援担当 TEL：0725-99-8159

■ 英語教育の充実

文部科学省認可の授業時数特例校として、他校より外国語活動・英語の授業を年間 10 時間多く設定し、ネイティブの A L T（外国語指導助手）を週 5 日常駐配置するなど、英語教育を充実させています。



■ 地域を教材とした独自教科「槇尾学」を展開

旧南横山小学校周辺の豊かな自然環境や道の駅いずみ山愛の里、地元産業・事業者など、多くの教育資源を生かし、地域の歴史文化などの調べ学習、地域交流など様々な体験を通して情操を育みます。



＜お問い合わせ先＞

和泉市教育委員会学校教育室 児童生徒支援担当 TEL：0725-99-8159